

# 富士山防災学習カリキュラムの構築(R7~9)

山梨県富士山科学研究所

## 背景・目的

- 災害の軽減には「主体的な行動」が重要
- 生徒が自ら考えて防災を学ぶための教材が必要
- 小学校・中学校を通して学ぶ体制が必要
- 火山・地震の防災学習には実験教材が有効

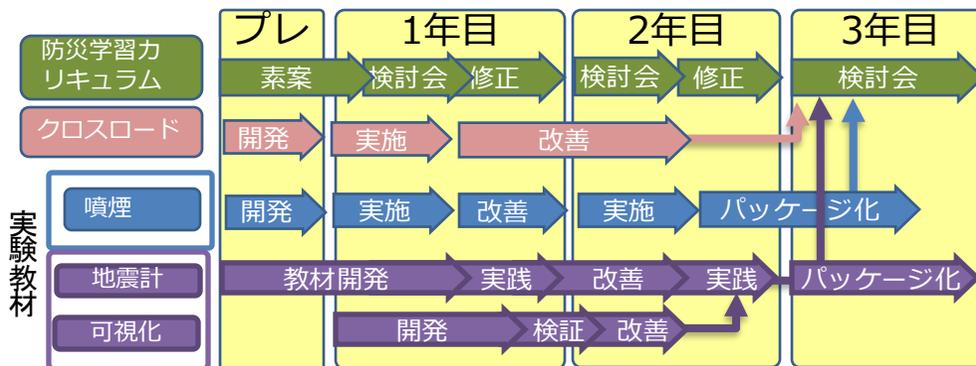
このため 科学的知識と防災心理学に基づいて主体的な行動(事前対策・避難)ができる人材の育成に資するカリキュラムおよび教材を開発

## 研究内容

防災学習カリキュラム：小4から中3までの理科・社会科と総合的な学習を防災学習でつなぐカリキュラム

クロスロード：災害時分岐に立たされた際に考える力をつけるカードゲーム式の防災教材

実験教材：火山（噴煙実験教材）、地震（簡易地震計を使った教材、可視化ツール）



## 期待される成果

- 既存科目を横断した小学校・中学校一貫の防災学習カリキュラムの構築
- 小学校の理科・社会や中学校の理科での活用
- 中学校での総合的学習の時間で活用
- 災害時、主体的に行動できる人材の育成



地震などの揺れを可視化し、学習に使用するツール



クロスロードを用いた火山防災学習

- 生徒の自主性と知識力の向上
- 生徒から親世代への知識の伝達
- 教員の防災力向上

地域全体の知識力の向上  
すなわち、防災力の向上

やまなし強靱化の実現

共同研究者：京都大学防災研究所、都留文科大学、北翔大学、東京大学地震研究所、筑波大学、山梨県産業技術センター、忍野小学校  
協力：山梨県防災局、山梨県教育庁、富士吉田市教育委員会、富士河口湖町教育委員会